

# 始良中央地区合併協議会

## 第2回会議



あまん壺畑

福山町



隼人塚

隼人町



みぞべ茶

溝辺町

平成15年6月12日(木) 午後1時30分  
国分シビックセンター多目的ホール

## 第2回始良中央地区合併協議会会議次第

日時 平成15年6月12日（木）午後1時30分から

場所 国分シビックセンター多目的ホール

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 諸般の報告（協議会の行事や事務局の動き）
4. 議 事

(1) 報告事項

報告第9号 始良中央地区合併協議会会議録等の公開に関する要綱について

5 次回の会議内容について

1市6町の行政視察について（2回目＝国分市、霧島町、牧園町、横川町）

6 その他

7 閉 会

行政視察（1回目＝福山町→溝辺町→隼人町）

### <配布資料>

- ・ 始良中央地区合併協議会第2回会議
- ・ 1市6町のすがた
- ・ 「住民アンケート調査のお願い」調査用紙（会議当日に配布）
- ・ 新市まちづくりフォーラム委員名簿（会議当日に配布）

### <次回の協議会の開催日程>

第3回協議会は、6月26日（木）午後1時から国分シビックセンター多目的ホールで開催いたします。

諸般の報告

実施日	内 容	備 考
5月22日	第1回協議会	
5月27日	新市まちづくり計画策定業務委託業者選定をプロポーザルで実施	計画班
5月30日	始良伊佐地区まちづくりセミナー出席	事務局職員
6月 2日	第1回プロジェクト・ワーキング会議開催	計画班
6月 5日	第2回幹事会開催	
	市町長会議開催	計画班
6月 9日	第1回合併協議会事務局長等会議出席	事務局職員
6月10日	協議会だより創刊号発行	総務班
	第1回まちづくりフォーラム開催	計画班
6月11日	新市将来構想住民アンケート調査用紙を各市町に配布	計画班
6月12日	第2回協議会	

## 新市将来構想住民アンケート調査の実施について

### 1 調査の目的

新市まちづくり計画の策定にあたり、住民の間接的参画方法として計画策定段階から **1市6町**の住民の幅広い意見や要望を把握する。

### 2 調査の期間

平成 **15年6月**配布回収、**7月**に分析（別紙アンケート配布回収フロー参照）

### 3 調査の対象

**1市6町**の住民 **7,000**人を対象とする。

**20**歳以上を対象に、地域、年齢、性別を考慮し、各市町から **1,000**人を単純無作為抽出する。

### 4 調査の方法

配布は各市町に一任（郵送、配布）し、回収は各市町毎に調査員を配置する。

### 5 調査項目

調査項目は、次のように設定する。

#### （1）基本属性

①年齢

②性別

③職業

④住所

⑤居住年数

#### （2）合併への期待

#### （3）合併への不安

#### （4）望ましい将来像

#### （5）重点的に取り組む事項

社会基盤、生活環境、保健福祉、教育文化、産業経済、住民参画の各分野毎に重点項目を設定

#### （6）自由意見（要望や提言など）

始良中央地区合併協議会会議録等の公開に関する要綱について

始良中央地区合併協議会会議運営規程第8条第3項の規定に基づき、始良中央地区合併協議会会議録等の公開に関する要綱を次のように定めたので報告する。

平成15年6月12日提出

始良中央地区合併協議会  
会長 鶴丸明人

始良中央地区合併協議会会議録等の公開に関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、始良中央地区合併協議会会議運営規程（以下「会議運営規程」という。）第8条第3項の規定に基づき、始良中央地区合併協議会（以下「協議会」という。）の会議（以下「会議」という。）の会議録及び会議資料（以下「会議録等」という。）の公開に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開示の対象者)

第2条 何人も、この要綱の定めるところにより、協議会事務局に対し、会議録等の閲覧又は写しの交付（以下「開示」という。）を求めることができる。

(開示の請求手続)

第3条 開示を受けようとする者は、次に掲げる事項を協議会事務局へ届け出なければならない。

(1) 開示請求をする者の氏名又は名称及び住所又は居所並びに法人その他の団体にあつては代表者の氏名

(2) 開示請求に係る文書を特定する事項  
(開示しないことができる会議録等)

第4条 会議録等が、次の各号のいずれかに該当するときは、当該会議録等を開示しないことができる。

(1) 会議運営規程第9条第1項の規定により、会議が公開されなかった協議会における会議録等

(2) 個人、法人、その他の団体（以下「個人等」という。）に関する情報で、公にすることにより、個人等の権利利益を害するおそれのあるもの及びその他開示することが適当でないと認められる事項が掲載された会議録等  
(開示の時期)

第5条 開示は、会議の議長が会議録に記名押印をし、会議録が確定した日以後に行うものとする。

(開示の実施)

第6条 会議録等の開示は、閲覧又は写しの交付により行う。

(費用負担)

第7条 前条の規定により会議録等の写しの交付を受ける場合には、当該写しの交付に要する費用（国分市情報公開事務取扱要綱第7の1の(1)に定める額）を負担しなければならない。

(開示の場所及び時間)

第8条 開示の場所は事務局内とし、その時間は執務時間内とする。

(構成市町における取扱い)

第9条 会議録等を入手した国分市、溝辺町、横川町、牧園町、霧島町、隼人町及び福山町（以下「構成市町」という。）は、当該構成市町の情報公開条例に基づき対応するものとする。

(その他必要な事項)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は会議の議長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成15年6月1日から施行する。

# 会議録等の公開に関する届出書

番号	氏名又は名称	住所又は居所	法人又は団体の代表者	開示希望の書類		開示希望の種類	
				第 回 会 議 録	第 回 会 議 資料	閲 覧	複 写
1				第 回 会 議 録	第 回 会 議 資料	閲 覧	複 写
2				第 回 会 議 録	第 回 会 議 資料	閲 覧	複 写
3				第 回 会 議 録	第 回 会 議 資料	閲 覧	複 写
4				第 回 会 議 録	第 回 会 議 資料	閲 覧	複 写
5				第 回 会 議 録	第 回 会 議 資料	閲 覧	複 写
6				第 回 会 議 録	第 回 会 議 資料	閲 覧	複 写
7				第 回 会 議 録	第 回 会 議 資料	閲 覧	複 写
8				第 回 会 議 録	第 回 会 議 資料	閲 覧	複 写

## 1 市 6 町の行政視察について

### 1 趣 旨

1 市 6 町にはそれぞれの歴史や文化があります。そこで各市町を訪れ、行政施設等を視察して各市町の現状を把握し、これからの合併協議の参考とすることを目的とする。

2 日 時 平成 1 5 年 6 月 1 2 日 (木) 午後 1 時 3 0 分～午後 5 時 2 0 分  
平成 1 5 年 6 月 2 6 日 (木) 午後 1 時 0 0 分～午後 5 時 4 0 分

3 場 所 1 市 6 町の行政棟

4 参加者 合併協議会委員及び事務局

5 説明者 各市町合併担当課長等

6 方 法 バスを利用して、順番に各市町を視察する。

### 7 行政視察日程表

1 回目：平成 1 5 年 6 月 1 2 日 (木)

協議 1 3 : 3 0 ~ 1 3 : 5 0 (国分シビックセンター多目的ホール)  
国分市役所 1 3 : 5 0 (出発) → 1 4 : 2 0 (到着) 福山町役場 1 4 : 5 0 (出発)  
→ 1 5 : 4 0 (到着) 溝辺町役場 1 6 : 1 0 (出発) → 1 6 : 4 0 (到着) 隼人町役場  
1 7 : 1 0 (出発) → 1 7 : 2 0 (到着) 国分市役所 (解散)

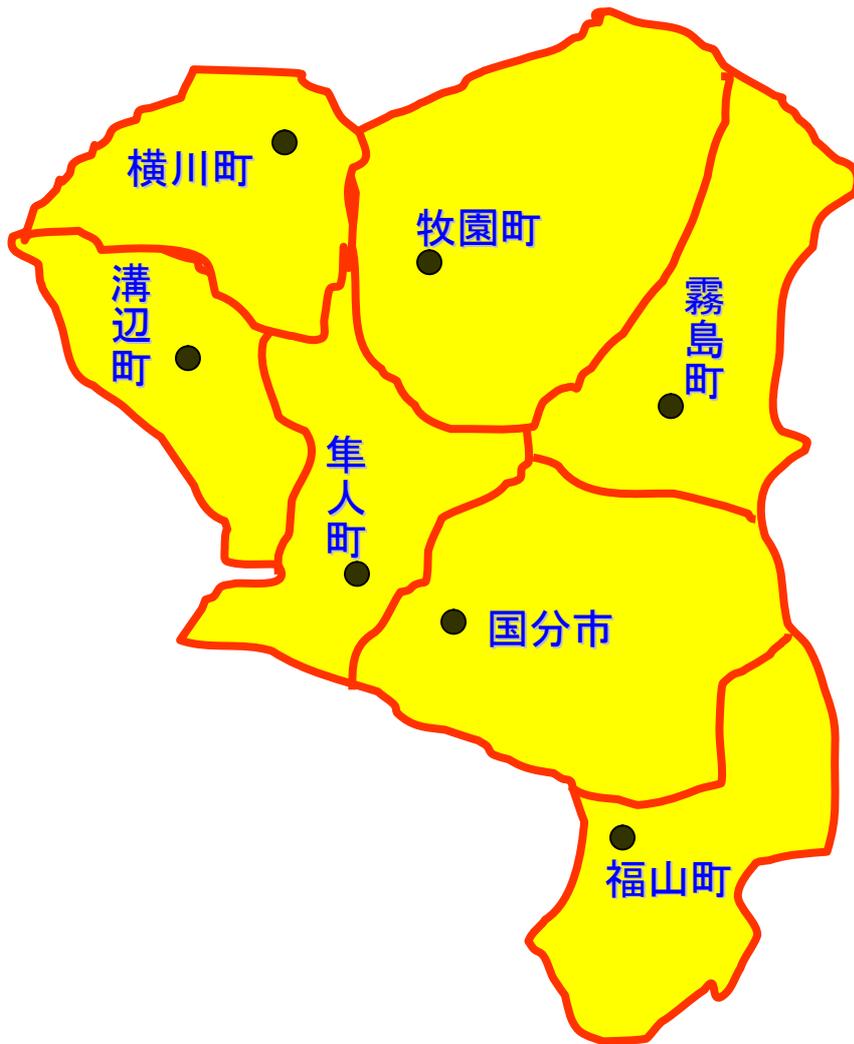
---

2 回目：平成 1 5 年 6 月 2 6 日 (木)

協議 1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 3 0 (国分シビックセンター多目的ホール)  
国分市役所 1 3 : 3 0 (説明) 1 4 : 0 0 (出発) → 1 4 : 3 0 (到着) 霧島町役場  
1 5 : 0 0 (出発) → 1 5 : 3 0 (到着) 牧園町役場 1 6 : 0 0 (出発) → 1 6 : 3 0 (到着)  
横川町役場 1 7 : 0 0 (出発) → 1 7 : 4 0 (到着) 国分市役所

※ 6 月 2 6 日は、午後 6 時から 8 階レストランで懇親会を開催します。

# 1市6町のすがた



平成15年6月12日

始良中央地区合併協議会

## 目 次

	(頁)
国分市 . . .	1~3
溝辺町 . . .	4~6
横川町 . . .	7~9
牧園町 . . .	10~12
霧島町 . . .	13~15
隼人町 . . .	16~18
福山町 . . .	19~21
1市6町一覽 . . .	22~23
財政用語説明 . . .	24~25
圏域等 . . .	26~27

# 国分市

## 【概要】

国分市は、昭和29年に1町4村が合併し、国分町となり、翌30年に市制を施行しました。

鹿児島空港、九州縦貫自動車道インターチェンジから車で約20分の距離にあり、また、日豊本線、国道10号・220号が市内を横断しており、さらに東九州自動車道（国分～末吉財部）が開通し、薩摩半島と大隅半島を結ぶ交通の要衝となっており、この優位な交通条件により先端技術産業を中心とした企業が相次いで進出しています。

また、昭和59年にテクノポリスの指定を受け、さらに平成2年には頭脳立地地域の承認を受け、めざましい発展を続けています。

このような恵まれた環境の下で、現在では「自然と歴史とテクノが織りなす県央中核都市」を目標とし、産業、生活、交流の拠点都市をめざしてまちづくりを推進しています。

## 【位置及び地勢】

国分市は、県本土のほぼ中央部に位置し、薩摩半島と大隅半島の接点に位置し、広大な国分平野と南に波静かな錦江湾に浮かぶ桜島の雄姿を望み、さらに北に高千穂峰を始めとする霧島連峰を仰ぎ見る風光明媚なところにあります。

上場地域と呼ばれる広大な台地と下場地域と呼ばれる国分平野に大別され、市の西部を延長約40kmの天降川が流れています。上場地域は、観光農園や茶等の畑作が盛んであり、下場地域には人口の90%以上が集中し、農業、工業、商業の中心をなしています。

## 【特徴】

- 県下第4位の人口を擁し、現在も着実に人口が増加しており、また、昼間人口が夜間人口よりも多く、年々その傾向が増大するなど、通勤通学面でも県央の拠点都市としての強い吸引力を持っています。
- 大学や企業の立地により、5歳階級別人口では、15歳～19歳及び20～24歳の男性人口比率が突出しています。
- 優位な交通条件を活かして、昭和40年代から県外企業が進出し始め、テクノポリスの指定を受けた昭和59年以降は、上野原テクノパーク等に相次いで企業が立地しています。平成13年の工業統計調査では、県内で鹿児島市に次ぐ従業者数と製造品出荷額の規模になっています。
- 平成9年に発見された上野原遺跡は、約9,500年前の国内で最古・最大級の定住集落跡であり、平成11年に国の指定史跡となりました。平成14年には、県立埋蔵文化財センター、展示館等の施設を備えた「上野原縄文の森」が完成し、連日県内外から多数の観光客が訪れています。

## 【主要プロジェクト】

- 旧市役所跡地と平和通線沿道市街地における拠点開発
- JR 国分駅周辺地区整備
- 行政評価システムの導入
- 府中23号線天降川橋橋梁工事及び市内幹線道路交通網の整備
- (仮称)ふれあいバスの運行

国分市の主要指標等(1)

項目	数値	項目	数値	
〔面積・人口〕		地方交付税(千円)	5,159,119	
面積(km <sup>2</sup> )	122.51	一人当り地方交付税額(対H13推計人口)(千円)	95	
人口(人:H15.5.1推計人口)	55,224	歳出総額(千円)	20,059,760	
人口(人:H13.10.1推計人口)	54,519	一人当り歳出額(対H13推計人口)(千円)	368	
人口(人:H12.10.1国勢調査)	53,966	義務的経費	人件費(千円)	3,602,675
男性	27,517		扶助費(千円)	1,564,303
構成比(%)	51.0		公債費(千円)	3,031,311
女性	26,449		義務的経費比率(%)	40.9
	49.0	投資的経費	普通建設事業費(千円)	5,747,932
人口増減(国勢調査H12対H7)			災害復旧費(千円)	12,135
増減数(人)(H12-H7)	3,921		投資的経費比率(%)	28.7
増減率(%) (H12/H7)	7.8	物件費(千円)	1,812,231	
人口密度(人/km <sup>2</sup> )(H12国勢調査)	440.5	補助費等(千円)	1,554,197	
世帯(世帯:H15.5.1推計)	22,798	その他(千円)	2,734,976	
年齢3区分別人口比率(%) : H12国勢調査		財政力指数(3年平均)	0.52	
年少人口(0~14歳)	18.5	經常収支比率(%)	72.6	
生産年齢人口(15~64歳)	65.9	公債費比率(%)	16.0	
高齢人口(65歳以上)	15.4	起債制限比率(3年平均)(%)	8.6	
分類不能	0.2	自主財源比率(%)	48.3	
産業別就業人口(合計)(H12国勢調査)	23,952	積立金現在高(千円)	8,089,563	
第1次産業(人)	838	一人当り積立金現在高(対H13推計人口)(千円)	148	
構成比(%)	3.5	地方債現在高(千円)	30,309,977	
第2次産業(人)	9,165	一人当り地方債現在高(対H13推計人口)(千円)	556	
構成比(%)	38.3	〔職員・議員等定数〕		
第3次産業(人)	13,897	職員数(H13.4.1実数)(人)	461	
構成比(%)	58.0	議員数(H14.4.1条例定数)(人)	28	
分類不能	52	議員数(H15.5.1条例定数)(人)	24	
構成比(%)	0.2	農業委員数(H15.4.1選挙定数)(人)	13	
〔H13年度普通会計決算額〕		農業委員数(H15.4.1推薦定数)(人)	7	
歳入総額(千円)	20,923,372	〔各種統計調査等〕		
一人当り歳入額(対H13推計人口)(千円)	384	事業所・企業統計調査(H13.7.1)		
地方税(千円)	7,451,984	事業所数	2,280	
一人当り地方税額(対H13推計人口)(千円)	137	従業者数	29,508	

国分市の主要指標等(2)

項目	数値	項目	名称	
商業統計調査(H14.7.1)		〔その他の特徴〕		
事業所数	610	主要な施設	国分シビックセンター	
従業者数	4,295		国分市民会館	
工業統計調査(H13.12.31)			国分運動公園	
事業所数	56		多目的屋内練習場	
従業者数	9,537		国分城山公園	
地目別面積割合(H13.1.1)			国分ハイテク展望台	
宅地(%)	10.1		国分海浜公園	
山林(%)	57.4		国分市民プール公園	
田・畑(%)	18.5		ローカルエネルギー館	
その他(%)	14.0		いきいき国分交流センター	
〔H13年度公共施設状況調査〕		観光スポット	上野原縄文の森	
道路舗装率(市町道)(%)	95.5		上野原遺跡	
教育	公立幼稚園	0	城山公園	
	私立幼稚園	7	大隅国分寺跡	
	公立小学校	11	台明寺溪谷公園	
	公立中学校	3	国分キャンプ海水浴場	
	私立中学校	1	黒石岳森林公園	
	養護学校	0	行事・祭・イベント等	新春市民のつどい
	公立高等学校	2		国分桜まつり
	私立高等学校	1		国分夏まつり
	高等専門学校	0		納涼花火大会
	大学・短期大学	2		はんぎり出し
文化・体育	文化会館・公会堂	2	国分産業フェア	
	公民館	1	国分縄文の森駅伝大会	
	集会施設	95	特産品	薩摩錫器
	図書館	1		ファーストマト
	体育館	6		あいら新ごぼう
公立保育所	6	健康酢		
福祉	私立保育所	3	地ビール	
	養護老人ホーム	1	焼酎	
	特別養護老人ホーム	1		

# 溝 辺 町

## 【概要】

溝辺町は、昭和23年に当時の溝辺村から長谷地区が分村し、昭和27年には迫地区が分村して、加治木町に編入され、昭和34年に町制を施行しました。

昭和47年4月に鹿児島空港が開港し、その後、九州縦貫自動車道インターチェンジの設置、国道504号を始めとする広域幹線道路網等が整備され、南九州の空陸交通の要衝の地として飛躍的に発展してきました。

基幹産業は農業であり、溝辺茶の産地として広く知られ、ぶどう、梨、いちご狩りなどの観光農業のほか、肉用牛も常に共進会で上位の成績を占めています。

また、空港を中心に関連企業など各種企業の進出もあり、「農工併進の町」づくりも進めています。

今後も、農林業の安定と商工業の振興を始め、生活環境、福祉の充実、教育文化の向上、また、空港都市構想など将来展望を見据えた「活力と創造性に満ち、心豊かに安心して生活できる『元気で存在感のあるまち』を目指して」を基本理念とし、交流・連携の拠点である「空港のまち」としてのまちづくりを推進していきます。

## 【位置及び地勢】

本町は県都鹿児島市から北東へ約35km、姶良郡のほぼ中央部に位置し、東に霧島連峰、南に桜島を眺望できる標高約250mの高台にあります。

地形は、南北に細長く、中央の高屋山上陵によっておおむね二分され、地勢は対照的です。東南部は十三塚原を中心に平地に富み、そのほとんどが畑地で、この地域に空港があります。西北部は、山岳地帯を形成し、長尾山系は本町主要河川の源となっています。

## 【特徴】

○鹿児島空港は、3,000mの滑走路、国際線ターミナルビルなどの設備と規模を持つ国際空港であり、南九州の玄関口としての機能を果たしています。

○茶については、県内でも有数の規模と品質を誇り、「銘茶みぞべ」の産地として県内外に広く名を知られています。

○空港周辺を中心に多くの観光農園（ぶどう、梨、いちごなど）が点在しており、シーズン中は多くの家族連れなどで賑わいます。

○教育・文化の中核となるグリーン文化ホール「みそめ館」では、生涯学習講座、文化講演会、音楽会等が行われ、生涯学習の発信基地としての機能が果たされています。

○神代三山陵の一つである高屋山上陵を中心に栄えた古い歴史を持っています。

○西郷公園には、高さ10.5mの人物像としては国内最大を誇る西郷隆盛像があります。

## 【主要プロジェクト】

○麓第一土地区画整理事業

○鹿児島臨空団地の整備及び企業立地の推進

○新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業

○空港周辺環境整備事業

○みぞべ茶生産振興事業

溝辺町の主要指標等(1)

項 目	数 値	項 目	数 値	
〔面積・人口〕		地方交付税(千円)	1,216,287	
面積(km <sup>2</sup> )	63.50	一人当り地方交付税額(対H13推計人口)(千円)	142	
人口(人:H15.5.1推計人口)	8,748	歳出総額(千円)	5,786,511	
人口(人:H13.10.1推計人口)	8,580	一人当り歳出額(対H13推計人口)(千円)	674	
人口(人:H12.10.1国勢調査)	8,537	義務的経費	人件費(千円)	840,097
男性	4,102		扶助費(千円)	359,487
構成比(%)	48.0		公債費(千円)	668,835
女性	4,435		義務的経費比率(%)	32.3
構成比(%)	52.0	投資的経費	普通建設事業費(千円)	2,478,481
人口増減(国勢調査H12対H7)			災害復旧費(千円)	63,062
増減数(人)(H12-H7)	244		投資的経費比率(%)	43.9
増減率(%) (H12/H7)	2.9	物件費(千円)	509,800	
人口密度(人/km <sup>2</sup> )(H12国勢調査)	134.4	補助費等(千円)	471,914	
世帯(世帯:H15.5.1推計)	3,438	その他(千円)	394,835	
年齢3区分別人口比率(%:H12国勢調査)		財政力指数(3年平均)	0.54	
年少人口(0~14歳)	17.7	経常収支比率(%)	81.0	
生産年齢人口(15~64歳)	63.0	公債費比率(%)	17.6	
高齢人口(65歳以上)	19.3	起債制限比率(3年平均)(%)	9.6	
分類不能	0.0	自主財源比率(%)	35.7	
産業別就業人口(合計)(H12国勢調査)	4,608	積立金現在高(千円)	1,387,117	
第1次産業(人)	823	一人当り積立金現在高(対H13推計人口)(千円)	162	
構成比(%)	17.9	地方債現在高(千円)	7,406,156	
第2次産業(人)	1,138	一人当り地方債現在高(対H13推計人口)(千円)	863	
構成比(%)	24.7	〔職員・議員等定数〕		
第3次産業(人)	2,645	職員数(H13.4.1実数)(人)	108	
構成比(%)	57.4	議員数(H14.4.1条例定数)(人)	16	
分類不能	2	議員数(H15.5.1条例定数)(人)	16	
構成比(%)	0.0	農業委員数(H15.4.1選挙定数)(人)	10	
〔H13年度普通会計決算額〕		農業委員数(H15.4.1推薦定数)(人)	5	
歳入総額(千円)	5,926,348	〔各種統計調査等〕		
一人当り歳入額(対H13推計人口)(千円)	691	事業所・企業統計調査(H13.7.1)		
地方税(千円)	1,330,592	事業所数	453	
一人当り地方税額(対H13推計人口)(千円)	155	従業者数	5,396	

溝辺町の主要指標等(2)

項 目		数 値	項 目	名 称
商業統計調査(H14.7.1)			〔その他の特徴〕	
	事業所数	116	主要な施設	鹿児島空港 竹山ダム グリーン文化ホール 「みそめ館」 物産館「よこで〜ろ」 ふれあい温泉センター
	従業者数	860		
工業統計調査(H13.12.31)				
	事業所数	17		
	従業者数	450	観光スポット	西郷公園 高屋山上陵 上床公園 自然薬草の森 バレルバレープラハ&GEN 県民の森 薬草の森
地目別面積割合(H13.1.1)				
	宅地(%)	3.8		
	山林(%)	38.2		
	田・畑(%)	20.6	行事・祭・イベント等	グリーンエアポートフェスタ グリーンエアポート完走歩大会 ふるさと祭り 「空の日」イベント
	その他(%)	37.4		
〔H13年度公共施設状況調査〕				
道路舗装率(市町道)(%)		69.5		
教育	公立幼稚園	1		
	私立幼稚園	0		
	公立小学校	3		
	公立中学校	2		
	私立中学校	0		
	養護学校	0		
	公立高等学校	0		
	私立高等学校	0		
	高等専門学校	0		
	大学・短期大学	0		
文化・体育	文化会館・公会堂	1	特産品	銘茶みぞべ ぶどう 梨 いちご 地ビール
	公民館	1		
	集会施設	24		
	図書館	0		
	体育館	1		
福祉	公立保育所	0	焼酎 肉用牛	
	私立保育所	4		
	養護老人ホーム	0		
	特別養護老人ホーム	1		

# 横川町

## 【概要】

横川町は、昭和15年に町制を施行し、戦前は日本屈指の金山で栄えましたが、昭和28年の金山閉山後は過疎が進み、昭和45年に過疎地域の指定を受けました。しかし、昭和47年に鹿児島空港が隣接町溝辺町へ移転、その後の九州縦貫自動車道の開通及び横川インターチェンジの設置等により、臨空地帯としての企業立地条件が整い、企業が相次いで立地し始めました。現在では、先端技術関連等の企業21社が進出しており、若者のUターン現象も見られ、町に活気が出てきています。

また、JR肥薩線の大隅横川駅と植村駅があり、国道は504号が通っており、さらに主要県道が東西南北に走り、空港まで約15分、鹿児島市まで約50分で結ばれるという恵まれた交通条件にあります。

現在は、「自然とともに生き、みんなで育む、住みよい豊かな横川」を基本理念として、自然と共生した町民生活や産業振興・生涯学習活動などを展開しています。

## 【位置及び地勢】

霧島山脈の南西部に位置し、始良郡北部地区のほぼ中心部にあたります。町の北部と西部の町境には標高400m～700mの小山岳が起伏し、これらに源を発する諸支流が天降川となり、町を横断しています。町の総面積の半分以上が山林で、平地が少なく、天降川水系の流域に水田が、また、山間部には畑地が散在しています。地質はシラス土壌で、気候も霧島山系の影響で変化が著しいですが、準高冷地的気候を利用した農作物栽培に適しています。

## 【特徴】

- 明治百周年記念事業で建設された丸岡公園は、県を代表する桜・つつじの名所として県内外から大勢の行楽客で賑わいます。
- 準高冷地的気候を利用した農業の適地であり、夏秋露地キュウリを中心に、スイカ、露地小菊、しいたけ、ゴーヤ(にがうり)、茶等の栽培が行われています。
- 横川ブランドとして、露地キュウリが「みどりちゃん」の愛称で出荷され、昭和51年には国の指定産地になっています。
- 地元で生産される農産物などの直売所として、横川物産館「よいやんせ」があり、年間約14万人以上の来客が訪れます。
- 恵まれた企業立地条件により現在では21社が進出し、町内就労者は約1,000人にのぼり、地域振興、若者の雇用確保につながる先端産業の立地がなされています。
- 平成9年9月に「横川町定住促進条例」が制定され、町内に土地を所有し住宅を新築した転入者は、助成が受けられます。

## 【主要プロジェクト】

- 丸岡公園の再整備
- 企業誘致の推進
- 農林業の振興
- 文化財の整備
- 公営住宅整備

## 横川町の主要指標等(1)

項 目	数 値	項 目	数 値	
〔面積・人口〕		地方交付税(千円)	1,768,706	
面積(km <sup>2</sup> )	70.45	一人当り地方交付税額(対H13推計人口)(千円)	324	
人口(人:H15.5.1推計人口)	5,551	歳出総額(千円)	3,768,109	
人口(人:H13.10.1推計人口)	5,451	一人当り歳出額(対H13推計人口)(千円)	691	
人口(人:H12.10.1国勢調査)	5,516	義務的経費	人件費(千円)	734,663
男性	2,628		扶助費(千円)	205,083
構成比(%)	47.6		公債費(千円)	750,856
女性	2,888		義務的経費比率(%)	44.9
構成比(%)	52.4	投資的経費	普通建設事業費(千円)	742,460
人口増減(国勢調査H12対H7)			災害復旧費(千円)	23,387
増減数(人)(H12-H7)	-339		投資的経費比率(%)	20.3
増減率(%) (H12/H7)	-5.8	物件費(千円)	461,864	
人口密度(人/km <sup>2</sup> )(H12国勢調査)	78.3	補助費等(千円)	354,270	
世帯(世帯:H15.5.1推計)	2,445	その他(千円)	495,526	
年齢3区分別人口比率(%) : H12国勢調査		財政力指数(3年平均)	0.23	
年少人口(0~14歳)	14.5	経常収支比率(%)	88.0	
生産年齢人口(15~64歳)	54.5	公債費比率(%)	20.3	
高齢人口(65歳以上)	31.0	起債制限比率(3年平均)(%)	12.9	
分類不能	0.0	自主財源比率(%)	24.3	
産業別就業人口(合計)(H12国勢調査)	2,616	積立金現在高(千円)	1,455,468	
第1次産業(人)	524	一人当り積立金現在高(対H13推計人口)(千円)	267	
構成比(%)	20.0	地方債現在高(千円)	4,801,005	
第2次産業(人)	855	一人当り地方債現在高(対H13推計人口)(千円)	881	
構成比(%)	32.7	〔職員・議員等定数〕		
第3次産業(人)	1,235	職員数(H13.4.1実数)(人)	83	
構成比(%)	47.2	議員数(H14.4.1条例定数)(人)	14	
分類不能	2	議員数(H15.5.1条例定数)(人)	14	
構成比(%)	0.1	農業委員数(H15.4.1選挙定数)(人)	10	
〔H13年度普通会計決算額〕		農業委員数(H15.4.1推薦定数)(人)	4	
歳入総額(千円)	3,998,796	〔各種統計調査等〕		
一人当り歳入額(対H13推計人口)(千円)	734	事業所・企業統計調査(H13.7.1)		
地方税(千円)	456,931	事業所数	241	
一人当り地方税額(対H13推計人口)(千円)	84	従業者数	2,310	

横川町の主要指標等(2)

項 目		数 値	項 目	名 称
商業統計調査(H14.7.1)			〔その他の特徴〕	
	事業所数	57	主要な施設	丸岡公園コミュニティセンター 健康温泉センター 総合運動公園 こもれびの里 物産館「よいやんせ」
	従業者数	245		
工業統計調査(H13.12.31)				
	事業所数	22		
	従業者数	913		
地目別面積割合(H13.1.1)			観光スポット	丸岡公園 安良神社 岩堂観音 山ヶ野鉱山跡
	宅地(%)	2.9		
	山林(%)	58.4		
	田・畑(%)	12.2		
	その他(%)	26.5		
〔H13年度公共施設状況調査〕				
道路舗装率(市町道)(%)		90.3	行事・祭・イベント等	チビっ子まつり 黄金の郷山ヶ野史跡めぐり ウォーキング 農林業祭 夏まつり 春市・秋市
教育	公立幼稚園	0	特産品	丸岡漬 露地キュウリ 露地小菊 スイカ 横川みそ ゆべし 里芋 自然薯 しいたけ ゴーヤ(にがうり) 茶 肉用牛
	私立幼稚園	0		
	公立小学校	3		
	公立中学校	1		
	私立中学校	0		
	養護学校	0		
	公立高等学校	0		
	私立高等学校	0		
	高等専門学校	0		
大学・短期大学	0			
文化・体育	文化会館・公会堂	0		
	公民館	1		
	集会施設	20		
	図書館	0		
	体育館	1		
福祉	公立保育所	2		
	私立保育所	1		
	養護老人ホーム	1		
	特別養護老人ホーム	1		

# 牧園町

## 【概要】

牧園町は、昭和15年に町制が施行され、昭和22年には、従来の6大字から7大字になり今日に至っています。昭和9年に霧島国立公園が国内初の国立公園の指定を受けましたが、昭和39年に再編された霧島屋久国立公園の南西部にあたり、霧島火山郡の山麓一帯の地を占め、常緑樹や赤松の原生林が広がる豊かな自然環境に恵まれ、四季折々に美しい自然の表情を楽しめる風光明媚な町です。

交通条件としては、霧島温泉駅を有するJR肥薩線が南北に走り、国道223号が町の中心を通っています。また、主要県道等により鹿児島空港と約15分、国分市まで約30分で結ばれ、広域的な移動について比較的恵まれた条件にあります。

現在は、「豊かな自然と共生し、湧きいでる活力とたすけあいがつくる町ー牧園町」を基本理念としたまちづくりを推進しており、今後も観光と農業の町として更に飛躍的な発展が期待されます。

## 【位置及び地勢】

本町は県本土の東北部に位置し、東西10.5km、南北17.5kmの菱形をなしています。町の北東部には、韓国岳、大浪池、新燃岳、中岳、高千穂峰などの霧島火山群が高く連なってそびえ、その南西斜面の裾野は遠く延び、南方に広く開けて、標高200mから600mの火山噴出物原野を構成しています。ここに位置する本町は北東部が高く、南西部に向かって低い波状高地によって占められ、谷間は一般に深く切り立っており、平坦地は極めて少なくなっています。霧島連峰を源に複数の河川が合流して天降川となり、国分平野を経て、錦江湾に注いでいます。

## 【特徴】

- 大浪池や広大な山林を有する霧島屋久国立公園を始めとする豊富な自然資源を活かした観光地として全国的に知名度が高く、県内外や外国から毎年多数の観光客が訪れています。
- 町内各所に湧出する良質な温泉があり、町の北部は県下3大観光地の霧島温泉郷、南部には坂本龍馬・お竜が新婚旅行で訪れた塩浸温泉、湯治客でにぎわう安楽・妙見温泉があります。また、飲む銘泉で知られる「関平鉱泉」もあります。
- 国の天然記念物の「ノカイドウ」、日本一の大茶樹、天降川渓谷の甌穴郡、縄文遺跡、和気清磨呂公の遺跡など数多くの文化遺跡があります。
- 産業では、観光業を始めとして農林業が盛んであり、特に茶は「霧島茶」で知られ、農林大臣賞や天皇杯を受賞する農家があるなど優良産地となっています。そのほか酪農、畜産、しいたけなどの生産も盛んです。
- 全国でも有名な霧島国際音楽祭の開催町として知られ、霧島国際音楽ホールの優れた音響施設の中で毎年素晴らしい演奏会が開催されます。
- 霧島高原太鼓まつり、霧島高原サイクルジャンボリー、龍馬ハムソーク in 霧島など町をあげて取り組むイベントへの参加者や自然・歴史・文化を求めて集まる人々の交流の輪が年々拡大しています。

## 【主要プロジェクト】

- 高千穂小学校整備事業
- 麓地区複合施設プロジェクト事業
- 中山間地域総合整備事業
- 牧場周辺プロジェクト（農大跡地を含む）
- 町営住宅の年次的整備

牧園町の主要指標等(1)

項 目	数 値	項 目	数 値	
〔面積・人口〕		地方交付税(千円)	2,388,058	
面積(km <sup>2</sup> )	129.66	一人当り地方交付税額(対H13推計人口)(千円)	252	
人口(人:H15.5.1推計人口)	9,247	歳出総額(千円)	5,468,629	
人口(人:H13.10.1推計人口)	9,481	一人当り歳出額(対H13推計人口)(千円)	577	
人口(人:H12.10.1国勢調査)	9,613	義務的経費	人件費(千円)	1,198,568
男性	4,406		扶助費(千円)	192,352
構成比(%)	45.8		公債費(千円)	810,863
女性	5,207		義務的経費比率(%)	40.3
構成比(%)	54.2	投資的経費	普通建設事業費(千円)	1,154,055
人口増減(国勢調査H12対H7)			災害復旧費(千円)	38,146
増減数(人)(H12-H7)	-616		投資的経費比率(%)	21.8
増減率(%) (H12/H7)	-6.0	物件費(千円)	806,364	
人口密度(人/km <sup>2</sup> )(H12国勢調査)	74.1	補助費等(千円)	582,091	
世帯(世帯:H15.5.1推計)	3,989	その他(千円)	686,190	
年齢3区分別人口比率(%:H12国勢調査)		財政力指数(3年平均)	0.31	
年少人口(0~14歳)	12.2	経常収支比率(%)	85.5	
生産年齢人口(15~64歳)	58.2	公債費比率(%)	14.3	
高齢人口(65歳以上)	29.6	起債制限比率(3年平均)(%)	6.8	
分類不能	0.0	自主財源比率(%)	34.1	
産業別就業人口(合計)(H12国勢調査)	4,751	積立金現在高(千円)	1,055,598	
第1次産業(人)	672	一人当り積立金現在高(対H13推計人口)(千円)	111	
構成比(%)	14.1	地方債現在高(千円)	7,291,311	
第2次産業(人)	1,180	一人当り地方債現在高(対H13推計人口)(千円)	769	
構成比(%)	24.9	〔職員・議員等定数〕		
第3次産業(人)	2,899	職員数(H13.4.1実数)(人)	145	
構成比(%)	61.0	議員数(H14.4.1条例定数)(人)	18	
分類不能	0	議員数(H15.5.1条例定数)(人)	16	
構成比(%)	0.0	農業委員数(H15.4.1選挙定数)(人)	10	
〔H13年度普通会計決算額〕		農業委員数(H15.4.1推薦定数)(人)	5	
歳入総額(千円)	5,688,930	〔各種統計調査等〕		
一人当り歳入額(対H13推計人口)(千円)	600	事業所・企業統計調査(H13.7.1)		
地方税(千円)	1,042,760	事業所数	455	
一人当り地方税額(対H13推計人口)(千円)	110	従業者数	4,124	

牧園町の主要指標等(2)

項 目		数 値	項 目	名 称
商業統計調査(H14.7.1)			〔その他の特徴〕	
	事業所数	103	主要な施設	みやまの森運動公園 「まきぞのアリーナ」  霧島国際音楽ホール 「みやまコンセール」  霧島高原国民休養地 「シンフォニーコテージ」  霧島自然ふれあいセンター  牧場クリーンセンター  パライソ  霧島高原乗馬クラブ  関平温泉  関平鉱泉販売所
	従業者数	486		
工業統計調査(H13.12.31)				
	事業所数	13		
	従業者数	190		
地目別面積割合(H13.1.1)				
	宅地(%)	2.3		
	山林(%)	72.3		
	田・畑(%)	9.8		
	その他(%)	15.6		
〔H13年度公共施設状況調査〕				
道路舗装率(市町道)(%)		74.8		
教 育	公立幼稚園	3	観光スポット	霧島屋久国立公園  霧島温泉郷  霧島高原国民休養地  霧島まほろばの里  和気公園  犬飼滝  丸尾滝  大浪池
	私立幼稚園	1		
	公立小学校	6		
	公立中学校	1		
	私立中学校	0		
	養護学校	0		
	公立高等学校	1		
	私立高等学校	0		
	高等専門学校	0		
	大学・短期大学	0		
文 化 ・ 体 育	文化会館・公会堂	0	行事・祭・イベント等	霧島国際音楽祭  霧島高原太鼓まつり  霧島高原サイクルジャンボリー  龍馬ハネムーンウォークin霧島
	公民館	3		
	集会施設	11		
	図書館	0		
	体育館	2		
福 祉	公立保育所	3	特産品	霧島茶  しいたけ  関平鉱泉  焼酎  ゴーヤ(にがうり)  鮎、肉用牛  木工品、陶芸品
	私立保育所	1		
	養護老人ホーム	0		
	特別養護老人ホーム	1		

# 霧島町

## 【概要】

霧島町は、昭和9年に霧島国立公園に指定されたのを機に、その翌年に霧島村と改称し、昭和25年に現在の行政区域になり、昭和33年に町制施行を施行しました。

交通条件としては、JR日豊本線が走り、霧島神宮駅、北永野田駅があり、国道223号や主要県道等により鹿児島空港まで約30分、国分市まで約20分の位置にあります。

基幹産業は農業と観光で、観光面では入込み客数が年間200万人に及んでおり、今後も農業と観光の併進をめざします。

さらに、町の基本理念の「自然と共生し、みんなで築く、心豊かな住みよい霧島」に基づき、町民を主人公として、霧島の雄大な自然とともに、誰もが快適さやゆとりを感じることができる住みよさを追求したまちづくりを展開していきます。

## 【位置及び地勢】

本町は霧島連峰の南麓に位置し、標高は240m～1,500mの高冷地で、南北に長く、その中央を霧島川が貫流し、この流域を中心に水田があり、山麓丘陵地帯及び南部台地に畑が展開され、東部及び北部に山林地帯があります。間近に霧島連峰を仰ぎ、南方遥かに桜島が眺められる、山紫水明の地があります。霧島神宮一帯を中心として優れた泉質の霧島神宮温泉郷があります。

## 【特徴】

- 霧島屋久国立公園に指定されている雄大な自然資源や、国の重要文化財である霧島神宮を始めとした史跡、霧島神楽等の郷土芸能など、多様な歴史・文化資源を有しており、観光地としての高い知名度を持っており、年間約200万人もの観光客が訪れています。
- 温泉付き別荘・リゾートマンションが点在する滞在型観光地として脚光を浴びています。また、別荘地としてだけでなく、定住地として本町を選択する人々も増えてきています。
- 農地は標高240～500mに分布した準高冷地にあり、米、茶、高冷地野菜、畜産などの栽培・飼育に適した条件となっており、他の地域と同様の作物においても、新鮮さや味覚などの点で優れています。特に黒豚は、生産から製品加工・販売まで一貫しているところもあり、その高い品質から「霧島黒豚」として全国的に有名になりました。
- 農業が観光と深くかかわっており、地元でとれた農畜産物を使って、特産品等（ブルーベリー・ゆず等のワイン・ジュース等）の開発・販売を行い、最近は県内外への発送も多くなっています。
- 恵まれた自然環境や歴史・文化資源を活用した交流活動を展開しており、都会の子どもたちが本町で一定期間生活し、地元の子供たちや地域住民と交流する「山村留学」や「南九州神楽まつり」、「『花はきりしま』菜の花ウォーク」等のイベントにより様々な交流活動が展開されています。
- 霧島神宮前の国道223号は、「日本の道百選」に選ばれ、近くに西日本一の大鳥居があります。

## 【主要プロジェクト】

- 霧島神宮駅周辺まちなみ整備
- 学校施設等の整備
- 幹線道路網公共交通機関の整備
- 総合運動公園整備
- 地域産業・地域文化と連携した観光振興

## 霧島町の主要指標等(1)

項 目	数 値	項 目	数 値	
〔面積・人口〕		地方交付税(千円)	1,623,000	
面積(km <sup>2</sup> )	82.54	一人当り地方交付税額(対H13推計人口)(千円)	274	
人口(人:H15.5.1推計人口)	5,822	歳出総額(千円)	4,081,088	
人口(人:H13.10.1推計人口)	5,919	一人当り歳出額(対H13推計人口)(千円)	689	
人口(人:H12.10.1国勢調査)	5,918	義務的経費	人件費(千円)	690,652
男性	2,711		扶助費(千円)	167,027
構成比(%)	45.8		公債費(千円)	837,754
女性	3,207		義務的経費比率(%)	41.5
構成比(%)	54.2	投資的経費	普通建設事業費(千円)	805,757
人口増減(国勢調査H12対H7)			災害復旧費(千円)	7,834
増減数(人)(H12-H7)	-214		投資的経費比率(%)	19.9
増減率(%) (H12/H7)	-3.5	物件費(千円)	424,022	
人口密度(人/km <sup>2</sup> )(H12国勢調査)	71.7	補助費等(千円)	326,144	
世帯(世帯:H15.5.1推計)	2,415	その他(千円)	821,898	
年齢3区分別人口比率(%) :H12国勢調査)		財政力指数(3年平均)	0.28	
年少人口(0~14歳)	14.1	経常収支比率(%)	87.5	
生産年齢人口(15~64歳)	56.7	公債費比率(%)	17.4	
高齢人口(65歳以上)	29.2	起債制限比率(3年平均)(%)	11.7	
分類不能	0.0	自主財源比率(%)	36.2	
産業別就業人口(合計)(H12国勢調査)	2,685	積立金現在高(千円)	1,202,958	
第1次産業(人)	352	一人当り積立金現在高(対H13推計人口)(千円)	203	
構成比(%)	13.1	地方債現在高(千円)	5,713,170	
第2次産業(人)	707	一人当り地方債現在高(対H13推計人口)(千円)	965	
構成比(%)	26.3	〔職員・議員等定数〕		
第3次産業(人)	1,626	職員数(H13.4.1実数)(人)	85	
構成比(%)	60.6	議員数(H14.4.1条例定数)(人)	14	
分類不能	0	議員数(H15.5.1条例定数)(人)	14	
構成比(%)	0.0	農業委員数(H15.4.1選挙定数)(人)	10	
〔H13年度普通会計決算額〕		農業委員数(H15.4.1推薦定数)(人)	4	
歳入総額(千円)	4,292,778	〔各種統計調査等〕		
一人当り歳入額(対H13推計人口)(千円)	725	事業所・企業統計調査(H13.7.1)		
地方税(千円)	642,287	事業所数	324	
一人当り地方税額(対H13推計人口)(千円)	109	従業者数	2,298	

霧島町の主要指標等(2)

項目	数値	項目	名称	
商業統計調査(H14.7.1)		〔その他の特徴〕		
事業所数	71	主要な施設	神話の里公園	
従業者数	272		霧島よかもん市場	
工業統計調査(H13.12.31)			道の駅「霧島」	
事業所数	10		ほっと霧島館	
従業者数	150	町温泉健康増進交流センター「神乃湯」		
地目別面積割合(H13.1.1)		高千穂河原ビジターセンター		
宅地(%)	2.5	観光スポット	霧島屋久国立公園	
山林(%)	34.6		霧島神宮温泉郷	
田・畑(%)	8.5		霧島神宮	
その他(%)	54.4		高千穂河原	
〔H13年度公共施設状況調査〕		みどりの村		
道路舗装率(市町道)(%)	89.6	樹帯トンネル		
教育	公立幼稚園	1	両滝	
	私立幼稚園	0	千里ヶ滝	
	公立小学校	3	古宮址	
	公立中学校	1	行事・祭・イベント等	霧島国際音楽祭
	私立中学校	0		「花はきりしま」菜の花ウォーク
	養護学校	0		南九州神楽まつり
	公立高等学校	0		おじゃんせ市
	私立高等学校	0	御田植祭	
	高等専門学校	0	御神火祭	
	大学・短期大学	0	豊年ほぜ祭	
文化・体育	文化会館・公会堂	0	特産品	ブルーベリーワイン・ジュース・ジャム
	公民館	3		ゆずジュース・マーマレード
	集会施設	18		しそジュース、いちごジャム
	図書館	0		霧島黒豚
福祉	体育館	1	焼酎	
	公立保育所	0	ぶどう、茶	
	私立保育所	3	しいたけ、ゆず	
	養護老人ホーム	0		
特別養護老人ホーム	1			

# 隼人町

## 【概要】

隼人町は、昭和29年の合併で隼人日当山町となり、昭和32年に隼人町と改称し現在に至っています。交通については、鹿児島空港、JR日豊本線・肥薩線、九州縦貫自動車道、東九州自動車道、隼人道路、国道10号・223号・504号等が整備され、港湾では、2,000トン級岸壁2バースの規模を有する公共埠頭の隼人港外港が建設中であり、本町はまさに陸海空の交通体系が整った条件にあり、本県中央部における交通の要衝として重要な役割を担っています。

このような恵まれた地理的条件の下、現在では先端技術関連優良企業、県工業技術センター、志學館大学等が立地し、また、郊外型店舗や大型店も相次いで進出しています。

昭和59年にはテクノポリスの指定を受け、中核施設の国分隼人テクノポリスセンターには、ホテル、スポーツクラブ、オフィスマンションが立地しています。また、昭和61年にテレトピア構想のモデル都市に指定され、平成11年に第3セクターとして南九州ケーブルテレビネット(株)が開局し、平成12年からはCATV網を使ったインターネット接続サービスを開始しました。

現在は、「輝け、隼人！人づくり、夢づくり、まちづくり」を基本理念として、人と自然と産業が共生するまちをめざして全力を傾注しています。

## 【位置及び地勢】

本町は、県本土の錦江湾奥に位置し、町域は、東西7.2km、南北16.5kmと南北に細長い形状で、本町の東部を全長40kmの母なる川天降川が貫流し、錦江湾に注いでいます。流域の平地には、市街地、集落及び農地等が形成されており、海岸沿岸部には干拓地を有しています。一方、北部から南西部にかけて広がるシラス台地及び丘陵地は、標高が220～280mと比較的低く、主に畑地及び林地として利用されています。

## 【特徴】

- 天降川沿いに、日当山温泉郷、妙見温泉郷があり、古くから多くの人々に親しまれてきました。西郷隆盛もたびたび遊浴したといわれる日当山温泉は湯量が豊富で泉質も優れています。
- 長年の歳月と事業費を投じて修復整備された国指定史跡隼人塚を中心として、隼人塚史跡館を始め、鹿児島神宮、富隈城跡などの文化財等が数多くあります。
- 農業は米作主体ですが、温暖な気候を利用してトマト、生姜、ごぼうなどが栽培されています。
- 国分隼人テクノポリス建設計画に基づき「産・学・住・遊」を担う町の施設環境整備が着実に進み、中でも都市的機能を持った中核施設のテクノポリスセンターは連日賑わいを見せています。
- 昭和53年に開始した独居老人等対象の老人給食宅配サービスは、1日2食で年中無休と全国でも珍しく、また、温かみのある手作りの家庭料理を届けるように心がけており、宅配に際しては、声かけを実行し安否確認と孤独感の解消に努めています。

## 【主要プロジェクト】

- 小・中学校整備事業
- 図書館・保健センター整備事業
- 浜之市土地区画整理事業
- 新設公園整備事業
- 隼人駅東周辺整備事業

隼人町の主要指標等(1)

項目	数値	項目	数値	
〔面積・人口〕		地方交付税(千円)	2,599,742	
面積(km <sup>2</sup> )	66.49	一人当り地方交付税額(対H13推計人口)(千円)	70	
人口(人:H15.5.1推計人口)	36,796	歳出総額(千円)	10,338,317	
人口(人:H13.10.1推計人口)	37,261	一人当り歳出額(対H13推計人口)(千円)	277	
人口(人:H12.10.1国勢調査)	36,846	義務的経費	人件費(千円)	2,199,875
男性	17,779		扶助費(千円)	827,310
構成比(%)	48.3		公債費(千円)	1,414,919
女性	19,067		義務的経費比率(%)	43.0
構成比(%)	51.7	投資的経費	普通建設事業費(千円)	2,540,504
人口増減(国勢調査H12対H7)			災害復旧費(千円)	12,967
増減数(人)(H12-H7)	2,696		投資的経費比率(%)	24.7
増減率(%) (H12/H7)	7.9	物件費(千円)	1,002,791	
人口密度(人/km <sup>2</sup> )(H12国勢調査)	554.2	補助費等(千円)	1,097,843	
世帯(世帯:H15.5.1推計)	15,024	その他(千円)	1,242,108	
年齢3区分別人口比率(%) :H12国勢調査)		財政力指数(3年平均)	0.55	
年少人口(0~14歳)	16.6	経常収支比率(%)	82.5	
生産年齢人口(15~64歳)	64.2	公債費比率(%)	14.9	
高齢人口(65歳以上)	19.0	起債制限比率(3年平均)(%)	11.4	
分類不能	0.2	自主財源比率(%)	46.7	
産業別就業人口(合計)(H12国勢調査)	16,251	積立金現在高(千円)	1,958,295	
第1次産業(人)	744	一人当り積立金現在高(対H13推計人口)(千円)	53	
構成比(%)	4.6	地方債現在高(千円)	10,622,584	
第2次産業(人)	5,566	一人当り地方債現在高(対H13推計人口)(千円)	285	
構成比(%)	34.3	〔職員・議員等定数〕		
第3次産業(人)	9,937	職員数(H13.4.1実数)(人)	289	
構成比(%)	61.1	議員数(H14.4.1条例定数)(人)	24	
分類不能	4	議員数(H15.5.1条例定数)(人)	22	
構成比(%)	0.0	農業委員数(H15.4.1選挙定数)(人)	10	
〔H13年度普通会計決算額〕		農業委員数(H15.4.1推薦定数)(人)	5	
歳入総額(千円)	10,865,973	〔各種統計調査等〕		
一人当り歳入額(対H13推計人口)(千円)	292	事業所・企業統計調査(H13.7.1)		
地方税(千円)	3,678,852	事業所数	1,212	
一人当り地方税額(対H13推計人口)(千円)	99	従業者数	11,601	

隼人町の主要指標等(2)

項目	数値	項目	名称	
商業統計調査(H14.7.1)		〔その他の特徴〕		
事業所数	375	主要な施設	隼人塚史跡館 県工業技術センター 町立医師会医療センター 国分隼人テクノポリスセンター 農村環境改善センター	
従業者数	2,502			
工業統計調査(H13.12.31)				
事業所数	39			
従業者数	1,568			
地目別面積割合(H13.1.1)		観光スポット	隼人塚 隼人温泉郷 鹿児島神宮 熊襲の穴 富隈城跡 西郷屋敷	
宅地(%)	10.0			
山林(%)	48.8			
田・畑(%)	19.2			
その他(%)	22.0			
〔H13年度公共施設状況調査〕				
道路舗装率(市町道)(%)	84.6			
教育	公立幼稚園	1	行事・祭・イベント等	初午祭 日当山温泉祭 鮎まつり 列島南下ゲートボール大会 御田植祭
	私立幼稚園	4		
	公立小学校	6		
	公立中学校	2		
	私立中学校	0	特産品	ピーチワイン ファーストトマト あいら新ごぼう 茶 生姜 肉用牛 焼酎 鮎 薩摩弓 郷土玩具 (初鼓、鯛車、薩摩首人形)
	養護学校	0		
	公立高等学校	1		
	私立高等学校	0		
	高等専門学校	1		
	大学・短期大学	1		
文化・体育	文化会館・公会堂	0		
	公民館	1		
	集会施設	43		
	図書館	1		
	体育館	4		
福祉	公立保育所	1		
	私立保育所	4		
	養護老人ホーム	1		
	特別養護老人ホーム	1		

# 福山町

## 【概要】

福山町は、藩政時代から昭和初期まで、大隅半島の物資の集散地として大いに栄えました。昭和4年に町制施行により福山村から福山町になり、今年で73年になります。桜島を眼前に錦江湾奥に位置する農業を主体とした町で、牧之原を中心とした高原地帯（上場）と海岸地帯（下場）に大きく分けられます。海岸地帯は、年平均気温が18.7度あり、一部無霜地帯もあります。この温暖な気候を利用して果樹栽培と米酢の製造が行われています。

交通条件としては、国道10号・220号・504号の国道3路線が通っており、薩摩半島と大隅半島を結ぶ県内陸上交通の要の地となっています。

現在は、「誇りと愛着の持てるふるさとづくり」を基本理念に、全ての町民が幸せに暮らせるよう、魅力あるまちづくりに努めています。

## 【位置及び地勢】

本町は、始良郡の東南、波静かな錦江湾の湾奥に位置し、面積は68.52km<sup>2</sup>で、東西は約11km、南北は約15kmあります。また、志布志湾に注ぐ延長約55kmの菱田川の源流地でもあります。海岸地帯は、桜島を取り巻く始良カルデラの周辺部にあり、約8kmのゆるやかな海岸線が続き、急傾斜地が背後にせまっています。高原地域は、海拔380m程度の台地が続き各所に谷が入り、総体的に平坦地が少なく地質は、火山活動によるシラス層でおおわれ、ボラ層も含まれています。

## 【特徴】

○地域産業は、農業が主体であり、海岸沿いでは、温暖な気候を利用して果樹(温州みかん・錦江パール)栽培と天然米酢の製造が行われています。また、高原地域では、鹿児島黒牛の生産を中心とした畜産や高冷地野菜の栽培が盛んです。しかし、近年は後継者不足等による就労者減が顕著であり、安定的な市場供給が困難で、銘柄確立ができていない状況にあります。今後、黒牛については、育種価値情報等の活用により消費者ニーズに対応しながら、堆肥管理等の環境整備も図り、併せて、「優良肉用牛繁殖雌子牛導入事業」や後継者育成等により増頭を図っていく必要があります。また、地産地消につなげていく「福山町ふくふくふれあい館」の効果的活用を図りながら、農林産物の増産や品質向上に努め、組織的販促活動等の展開に努めています。

○本町の中心部の整備や街並みづくり、町内の生活道路、他地域と結ぶ幹線道路等、バランスのとれた整備が重要となっています。港湾については、港湾局部改修事業及び海岸環境整備事業に取り組んでおり、平成16年度以降に大型船の係留施設や海水浴場ができる予定です。県の錦江湾みらい総合戦略のなかにも「親水護岸等の整備」として位置づけられており、引き続き整備を推進しています。

○総合運動公園を核とし、パークゴルフ場・まきばドームの充実を図りながら、スポーツ振興の推進を図るため、子どもから高齢者までスムーズに利用できるようバリアフリーの視点に基づいた各種施設の建設を推進しながら、その有効利用や管理運営の方法を検討し、指導者づくりや健康づくりの気運づくりを推進しています。

## 【主要プロジェクト】

○総合運動公園整備                      ○地域産品を活かした地場産業の振興（農畜産業）

○ウォーターフロント整備（福山港改修、福山海岸環境整備）

福山町の主要指標等(1)

項 目	数 値	項 目	数 値	
〔面積・人口〕		地方交付税(千円)	2,075,833	
面積(km <sup>2</sup> )	68.52	一人当り地方交付税額(対H13推計人口)(千円)	279	
人口(人:H15.5.1推計人口)	7,185	歳出総額(千円)	4,324,365	
人口(人:H13.10.1推計人口)	7,449	一人当り歳出額(対H13推計人口)(千円)	581	
人口(人:H12.10.1国勢調査)	7,516	義務的経費	人件費(千円)	832,189
男性	3,571		扶助費(千円)	184,509
構成比(%)	47.5		公債費(千円)	661,065
女性	3,945		義務的経費比率(%)	38.8
構成比(%)	52.5	投資的経費	普通建設事業費(千円)	1,372,188
人口増減(国勢調査H12対H7)			災害復旧費(千円)	28,094
増減数(人)(H12-H7)	-59		投資的経費比率(%)	32.3
増減率(%) (H12/H7)	-0.8	物件費(千円)	384,520	
人口密度(人/km <sup>2</sup> )(H12国勢調査)	109.7	補助費等(千円)	357,906	
世帯(世帯:H15.5.1推計)	3,126	その他(千円)	503,894	
年齢3区分別人口比率(%:H12国勢調査)		財政力指数(3年平均)	0.21	
年少人口(0~14歳)	16.0	経常収支比率(%)	87.4	
生産年齢人口(15~64歳)	55.9	公債費比率(%)	14.8	
高齢人口(65歳以上)	28.1	起債制限比率(3年平均)(%)	12.0	
分類不能	0.0	自主財源比率(%)	20.0	
産業別就業人口(合計)(H12国勢調査)	3,190	積立金現在高(千円)	1,057,776	
第1次産業(人)	642	一人当り積立金現在高(対H13推計人口)(千円)	142	
構成比(%)	20.1	地方債現在高(千円)	5,147,676	
第2次産業(人)	1,009	一人当り地方債現在高(対H13推計人口)(千円)	691	
構成比(%)	31.6	〔職員・議員等定数〕		
第3次産業(人)	1,539	職員数(H13.4.1実数)(人)	106	
構成比(%)	48.3	議員数(H14.4.1条例定数)(人)	14	
分類不能	0	議員数(H15.5.1条例定数)(人)	14	
構成比(%)	0.0	農業委員数(H15.4.1選挙定数)(人)	10	
〔H13年度普通会計決算額〕		農業委員数(H15.4.1推薦定数)(人)	5	
歳入総額(千円)	4,547,020	〔各種統計調査等〕		
一人当り歳入額(対H13推計人口)(千円)	610	事業所・企業統計調査(H13.7.1)		
地方税(千円)	439,444	事業所数	328	
一人当り地方税額(対H13推計人口)(千円)	59	従業者数	2,489	

福山町の主要指標等(2)

項 目		数 値	項 目	名 称
商業統計調査(H14.7.1)			〔その他の特徴〕	
	事業所数	95	主要な施設	福山町活性化センター 特産品販売所 「ふくふくふれあい館」
	従業者数	334		
工業統計調査(H13.12.31)			パークゴルフ場 まきばドーム	
	事業所数	16		
	従業者数	275		
地目別面積割合(H13.1.1)			観光スポット	夫婦いちよう 旧田中別邸 松下美術館 狐ヶ丘高原 日本一の花文字 「フクヤマ」
	宅地(%)	3.2		
	山林(%)	55.1		
	田・畑(%)	20.0		
	その他(%)	21.7		
〔H13年度公共施設状況調査〕				
道路舗装率(市町道)(%)		80.9		
教 育	公立幼稚園	2	行事・祭・イベント等	ふくふくランドフェスタ (福の国めぐりウォーク) (県パークゴルフ大会) (ふるさとまつり)
	私立幼稚園	0		
	公立小学校	2		
	公立中学校	2		
	私立中学校	0		
	養護学校	1		
	公立高等学校	1		
	私立高等学校	0		
	高等専門学校	0		
	大学・短期大学	0	特産品	福山黒酢 福山黒牛 錦江パール(小ミカン) ゴーヤ(にがうり) ブリ フグ
文 化 ・ 体 育	文化会館・公会堂	0		
	公民館	2		
	集会施設	42		
	図書館	0		
	体育館	5		
福 祉	公立保育所	0		
	私立保育所	1		
	養護老人ホーム	0		
	特別養護老人ホーム	1		

1市6町の主要指標等一覧

項目	国分市	溝辺町	横川町	牧園町	霧島町	隼人町	福山町	計	
<b>〔面積・人口〕</b>									
面積(k㎡)	122.51	63.50	70.45	129.66	82.54	66.49	68.52	603.67	
人口(人:H15.5.1推計人口)	55,224	8,748	5,551	9,247	5,822	36,796	7,185	128,573	
人口(人:H13.10.1推計人口)	54,519	8,580	5,451	9,481	5,919	37,261	7,449	128,660	
人口(人:H12.10.1国勢調査)	53,966	8,537	5,516	9,613	5,918	36,846	7,516	127,912	
男性	27,517	4,102	2,628	4,406	2,711	17,779	3,571	62,714	
構成比(%)	51.0	48.0	47.6	45.8	45.8	48.3	47.5	49.0	
女性	26,449	4,435	2,888	5,207	3,207	19,067	3,945	65,198	
構成比(%)	49.0	52.0	52.4	54.2	54.2	51.7	52.5	51.0	
人口増減(国勢調査H12対H7)									
増減数(人)(H12-H7)	3,921	244	-339	-616	-214	2,696	-59	5,633	
増減率(%) (H12/H7)	7.8	2.9	-5.8	-6.0	-3.5	7.9	-0.8	4.6	
人口密度(人/k㎡)(H12国勢調査)	440.5	134.4	78.3	74.1	71.7	554.2	109.7	211.9	
世帯(世帯:H15.5.1推計)	22,798	3,438	2,445	3,989	2,415	15,024	3,126	53,235	
年齢3区分別人口比率(%) (H12国勢調査)									
年少人口(0~14歳)	18.5	17.7	14.5	12.2	14.1	16.6	16.0	16.9	
生産年齢人口(15~64歳)	65.9	63.0	54.5	58.2	56.7	64.2	55.9	63.2	
高齢人口(65歳以上)	15.4	19.3	31.0	29.6	29.2	19.0	28.1	19.8	
分類不能	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	
産業別就業人口(合計)(H12国勢調査)									
第1次産業(人)	838	823	524	672	352	744	642	4,595	
構成比(%)	3.5	17.9	20.0	14.1	13.1	4.6	20.1	7.9	
第2次産業(人)	9,165	1,138	855	1,180	707	5,566	1,009	19,620	
構成比(%)	38.3	24.7	32.7	24.9	26.3	34.3	31.6	33.8	
第3次産業(人)	13,897	2,645	1,235	2,899	1,626	9,937	1,539	33,778	
構成比(%)	58.0	57.4	47.2	61.0	60.6	61.1	48.3	58.2	
分類不能	52	2	2	0	0	4	0	60	
構成比(%)	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	
<b>〔H13年度普通会計決算額〕</b>									
歳入総額(千円)	20,923,372	5,926,348	3,998,796	5,688,930	4,292,778	10,865,973	4,547,020	56,243,217	
一人当り歳入額(対H13推計人口)(千円)	384	691	734	600	725	292	610	437	
地方税(千円)	7,451,984	1,330,592	456,931	1,042,760	642,287	3,678,852	439,444	15,042,850	
一人当り地方税額(対H13推計人口)(千円)	137	155	84	110	109	99	59	117	
地方交付税(千円)	5,159,119	1,216,287	1,768,706	2,388,058	1,623,000	2,599,742	2,075,833	16,830,745	
一人当り地方交付税額(対H13推計人口)(千円)	95	142	324	252	274	70	279	131	
歳出総額(千円)	20,059,760	5,786,511	3,768,109	5,468,629	4,081,088	10,338,317	4,324,365	53,826,779	
一人当り歳出額(対H13推計人口)(千円)	368	674	691	577	689	277	581	418	
義務的経費	人件費(千円)	3,602,675	840,097	734,663	1,198,568	690,652	2,199,875	832,189	10,098,719
	扶助費(千円)	1,564,303	359,487	205,083	192,352	167,027	827,310	184,509	3,500,071
	公債費(千円)	3,031,311	668,835	750,856	810,863	837,754	1,414,919	661,065	8,175,603
	義務的経費比率(%)	40.9	32.3	44.9	40.3	41.5	43.0	38.8	40.5
投資的経費	普通建設事業費(千円)	5,747,932	2,478,481	742,460	1,154,055	805,757	2,540,504	1,372,188	14,841,377
	災害復旧費(千円)	12,135	63,062	23,387	38,146	7,834	12,967	28,094	185,625
	投資的経費比率(%)	28.7	43.9	20.3	21.8	19.9	24.7	32.3	27.9
物件費(千円)	1,812,231	509,800	461,864	806,364	424,022	1,002,791	384,520	5,401,592	
補助費等(千円)	1,554,197	471,914	354,270	582,091	326,144	1,097,843	357,906	4,744,365	
その他(千円)	2,734,976	394,835	495,526	686,190	821,898	1,242,108	503,894	6,879,427	
財政力指数(3年平均)	0.52	0.54	0.23	0.31	0.28	0.55	0.21	—	
経常収支比率(%)	72.6	81.0	88.0	85.5	87.5	82.5	87.4	—	

1 市 6 町 の 主 要 指 標 等 一 覧

項 目	国分市	溝辺町	横川町	牧園町	霧島町	隼人町	福山町	計
公債費比率(%)	16.0	17.6	20.3	14.3	17.4	14.9	14.8	—
起債制限比率(3年平均)(%)	8.6	9.6	12.9	6.8	11.7	11.4	12.0	—
自主財源比率(%)	48.3	35.7	24.3	34.1	36.2	46.7	20.0	—
積立金現在高(千円)	8,089,563	1,387,117	1,455,468	1,055,598	1,202,958	1,958,295	1,057,776	16,206,775
一人当り積立金現在高(対H13推計人口)(千円)	148	162	267	111	203	53	142	126
地方債現在高(千円)	30,309,977	7,406,156	4,801,005	7,291,311	5,713,170	10,622,584	5,147,676	71,291,879
一人当り地方債現在高(対H13推計人口)(千円)	556	863	881	769	965	285	691	554
<b>【職員・議員等定数】</b>								
職員数(H13.4.1実数)(人)	461	108	83	145	85	289	106	1,277
議員数(H14.4.1条例定数)(人)	28	16	14	18	14	24	14	128
議員数(H15.5.1条例定数)(人)	24	16	14	16	14	22	14	120
農業委員数(H15.4.1選挙定数)(人)	13	10	10	10	10	10	10	73
農業委員数(H15.4.1推薦定数)(人)	7	5	4	5	4	5	5	35
<b>【各種統計調査等】</b>								
事業所・企業統計調査(H13.7.1)								
事業所数	2,280	453	241	455	324	1,212	328	5,293
従業者数	29,508	5,396	2,310	4,124	2,298	11,601	2,489	57,726
商業統計調査(H14.7.1)								
事業所数	610	116	57	103	71	375	95	1,427
従業者数	4,295	860	245	486	272	2,502	334	8,994
工業統計調査(H13.12.31)								
事業所数	56	17	22	13	10	39	16	173
従業者数	9,537	450	913	190	150	1,568	275	13,083
地目別面積割合(H13.1.1)								
宅地(%)	10.1	3.8	2.9	2.3	2.5	10.0	3.2	5.1
山林(%)	57.4	38.2	58.4	72.3	34.6	48.8	55.1	54.4
田・畑(%)	18.5	20.6	12.2	9.8	8.5	19.2	20.0	15.0
その他(%)	14.0	37.4	26.5	15.6	54.4	22.0	21.7	25.5
<b>【H13年度公共施設状況調査】</b>								
道路舗装率(市町道)(%)	95.5	69.5	90.3	74.8	89.6	84.6	80.9	—
教育	公立幼稚園	0	1	0	3	1	2	8
	私立幼稚園	7	0	0	1	0	0	12
	公立小学校	11	3	3	6	3	6	34
	公立中学校	3	2	1	1	1	2	12
	私立中学校	1	0	0	0	0	0	1
	養護学校	0	0	0	0	0	0	1
	公立高等学校	2	0	0	1	0	1	5
	私立高等学校	1	0	0	0	0	0	1
	高等専門学校	0	0	0	0	0	1	1
	大学・短期大学	2	0	0	0	0	1	3
文化・体育	文化会館・公会堂	2	1	0	0	0	0	3
	公民館	1	1	1	3	3	2	12
	集会施設	95	24	20	11	18	43	253
	図書館	1	0	0	0	0	0	2
	体育館	6	1	1	2	1	4	20
福祉	公立保育所	6	0	2	3	0	0	12
	私立保育所	3	4	1	1	3	4	17
	養護老人ホーム	1	0	1	0	0	1	3
	特別養護老人ホーム	1	1	1	1	1	1	7

# 財 政 用 語 説 明

※各市町の決算額については、平成14年度分は、各市町とも現在決算分析中であるため、平成13年度の決算額を掲載しています。

地 方 交 付 税	国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税のそれぞれ一定割合の額で、地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行できるよう、一定の基準により国が交付する税をいいます。
義 務 的 経 費	歳出のうち、その支出が義務づけられた経費をいい、主に人件費、扶助費、公債費の費目を指します。
人 件 費	職員、議員等に対し、勤労の対価、報酬として支払われる一切の経費をいいます。人件費に属するものとして、議員報酬、各種委員報酬、特別職給与、職員給、退職金、地方公務員共済組合負担金などがあります。
扶 助 費	地方公共団体が、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法等の各種の法令に基づき、被扶助者に対してその生活を維持するために支出する経費や、地方公共団体が単独で行っている各種扶助の経費をいいます。
公 債 費	地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金利子の合算額をいいます。
地 方 債	地方公共団体が資金調達のために起こす債務であって、その返済が一会計年度を超えて行われるものをいいます。また、地方債を起こすことを起債といいます。
投 資 的 経 費	その支出の効果が資本の形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費のことで、普通建設事業費、災害復旧費が含まれます。
普 通 建 設 事 業 費	道路、橋梁、河川等の公共土木関連施設、消防設備、学校等文教施設及び公営住宅等の新設・改良等の事業費並びに公共事業用地の購入費などが該当します。
災 害 復 旧 費	降雨、暴風、洪水、地震、高潮その他の災害によって、被害を受けた施設等を原形に復旧するための事業をいいます。
物 件 費	地方公共団体が支出する消費的性質の経費の総称であり、旅費、需用費、備品購入費、委託料、原材料費などが含まれます。

補助費等	地方公共団体が公益上必要がある場合に支出する補助金や寄附金等の経費で、その他に、負担金、報償金、火災保険、自動車保険などが含まれません。
財政力指数	地方公共団体が標準的な行政を行うために必要な一般財源に対する税収入の割合を示すものです。通常過去3年間の平均値を用い、地方公共団体の財政力を示す指数となっています。この指数が大きいほど財源(収入)に余裕があることとなります。
経常収支比率	財政構造の弾力性を示すもので、経常的に収入できる一般財源を経常的に支払わなければならない経費にどの程度充てたかという指数です。市の場合は75%、町村は70%程度が妥当であると考えられ、これが各々5%を超えるとその団体は弾力性を失いつつあると考えられます。
一般財源	財源の用途が特定されず、どのような経費にも使用することのできる財源のことで、代表的なものに地方税や地方交付税があります。
公債費比率	地方公共団体は、地方債を借り入れた際、定められた条件に従って、毎年度元金の償還及び利子の支払が必要となりますが、これに要する経費の総額を公債費といい、この公債費の経常的な一般財源が経常的な一般財源総額に占める割合を公債費比率といいます。この比率が大きいほど将来の住民に負担を強いることになり、財政構造の弾力性を圧迫することとなります。
起債制限比率	まず、標準財政規模(地方公共団体の一般財源の標準規模を示すもの)から普通交付税に算入される公債費を差し引きます。次に、地方債の元利償還金からこれに充当される特定財源と地方交付税に算入される公債費を差し引いた額を求めます。この後者の前者に対する割合を起債制限比率といい、この比率の過去3年間の平均が20%以上の団体については、地方債の借入れが制限されます。
自主財源比率	地方公共団体が、自主的に収入しうる財源をいい、地方税、使用料、手数料などが該当します。この比率が大きいほど行政活動の自主性と安定性が高いといえます。
積立金	地方公共団体が、財政運営を計画的にするため、又は財源の余裕がある場合において特定の支出目的のため、財政規模や歳入の安定性の程度に応じ積み立てる金銭をいいます。

## (参 考)

### 始良・伊佐広域市町村圏域地区別振興方向（ゾーニング）

始良・伊佐広域市町村圏域で設定している圏域の将来像は、「田園都市県際交流ゾーン」「自然交流ゾーン」「錦江湾都市交流ゾーン」の3つのゾーンでの将来機能配置がなされている。

#### ①「田園都市県際交流ゾーン」

圏域北部の伊佐・始良北部地域を田園都市県際交流ゾーンと位置付け、恵まれた自然環境、田園環境を活かしながら、鹿児島、熊本、宮崎3県の中継地として、情報・文化を融合し、独自の情報を県内外に発信する県際交流拠点都市としての機能を整備する。

#### ②「自然交流ゾーン」

霧島山麓及びシラス台地地域を自然交流ゾーンと位置付け、自然の恵みを活かした農林漁業や観光の振興、芸術・文化の振興を図りながら、自然環境や文化と共生する交流地域として整備する。

#### ③「錦江湾都市交流ゾーン」

人口増加が進む錦江湾沿いの地域を錦江湾都市交流ゾーンと位置付け、産業や都市サービス機能を集積するとともに、移住環境やスポーツ・レクリエーション環境、港湾機能等の整備を進め、高速交通機能を活かした交流拠点都市域の形成を図る。

#### 1. 始良・伊佐広域市町村圏域で設定している圏域の将来像

##### ①「田園都市県際交流ゾーン」

大口市、菱刈町、吉松町、栗野町

##### ②「自然交流ゾーン」

横川町、溝辺町、牧園町、霧島町、隼人町、国分市

##### ③「錦江湾都市交流ゾーン」

隼人町、国分市、福山町

#### 2. 国分・隼人テクノポリス圏域で設定している圏域の将来像

##### ①国際空港、国分・隼人テクノポリスゾーン

国分市、隼人町、溝辺町（鹿児島国際空港）

##### ②衛星都市、定住ゾーン

横川町、霧島町、福山町、牧園町

#### 4. 道路、河川水系の期成会

##### ①主要地方道 都城～隼人線・国分～霧島線整備促進期成会

国分市、隼人町、霧島町、牧園町、財部町

##### ②豊後迫～隼人線整備促進期成会

**隼人町、霧島町、牧園町**

③国道223号期成会

**国分市、隼人町、霧島町、牧園町、溝辺町、横川町、栗野町**

④国道10号期成会

**国分市、隼人町、霧島町、福山町、溝辺町、加治木町、始良町、蒲生町**

③天降川水系期成会

**国分市、隼人町、霧島町、牧園町、溝辺町、横川町、栗野町**

各種圏域・ゾーン毎の結びつき

圏域・ゾーン名	関係市町名						
	国分市	溝辺町	横川町	牧園町	霧島町	隼人町	福山町
自然交流ゾーン	○	○	○	○	○	○	
錦江湾都市交流ゾーン	○					○	○
テクノポリス圏	○	○	○	○	○	○	○
都城～隼人・国分～霧島線期成会	○			○	○	○	
豊後迫～隼人線期成会				○	○	○	
国道223号期成会	○	○	○	○	○	○	
国道10号期成会	○	○			○	○	○
天降川水系期成会	○	○	○	○	○	○	

地域指定一覧

指定名称	関係市町名						
	国分市	溝辺町	横川町	牧園町	霧島町	隼人町	福山町
過疎地域			○	○	㊦		○
辺地地域（地域を有する市町）	○		○	○	○		○
振興山村地域					○		
低開発地域工業開発地区	○					○	
農村地域工業導入地域	○	○	○			○	○

※ ㊦は平成16年度迄の経過措置地域

## 始良中央地区合併協議会「新市まちづくりフォーラム委員」名簿

■代表 国分市 増水 紀勝 (社会基盤)

■副代表 牧園町 中西 修 (社会基盤)  
 国分市 田代 昇子 (生活環境)  
 隼人町 岩元 三枝子 (教育文化)  
 横川町 内 千代子 (保健福祉)  
 国分市 笹山 千枝子 (産業経済)

### ■委員(分野別)

分野	市町名	氏名	備考	分野	市町名	氏名	備考
社会基盤	国分市	増水 紀勝		保健福祉	国分市	桐野 定雄	
	溝辺町	有村 和久	副座長		溝辺町	剥岩 ももえ	
	横川町	新村 守			横川町	内 千代子	座長
	牧園町	中西 修	座長		牧園町	東 真澄	
	霧島町	満山 継久			霧島町	千葉 しのぶ	副座長
	隼人町	徳永 良一			隼人町	原之園 正三郎	
	福山町	赤池 勇一郎			福山町	大山 京子	
生活環境	国分市	田代 昇子	座長	産業経済	国分市	笹山 千枝子	座長
	溝辺町	中山 実			溝辺町	福永 義和	
	横川町	塩井川 公子			横川町	辻 清美	
	牧園町	前田 嘉郎	副座長		牧園町	東福 健治	
	霧島町	濱田 徳子			霧島町	松元 義文	副座長
	隼人町	末廣 秋男			隼人町	米村 忠司	
	福山町	黒丸 初江			福山町	東村 一彦	
教育文化	国分市	長野 節代					
	溝辺町	山口 博美					
	横川町	小原 伸					
	牧園町	三宅 みき					
	霧島町	西田 基					
	隼人町	岩元 三枝子	座長				
	福山町	小島 崇	副座長				

始良中央地区1市6町の新市将来構想に関する

## 住民アンケート調査のお願い

始良中央地区合併協議会

国分市、溝辺町、横川町、牧園町、霧島町、隼人町及び福山町の1市6町は合併に関するあらゆる協議を行うために「始良中央地区合併協議会」を設置しました。

この協議会では、合併したらどのようなまちを目指すのか、そのためにはどのような事業を行うのかなど、新市の将来像ともいえる「新市まちづくり計画」を策定いたします。そのため、1市6町にお住まいの20歳以上の方の中から無作為に抽出した7,000人を対象に新市の将来構想についてアンケート調査を行うことになりました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、上記趣旨をご理解の上、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

なお、回収したアンケートは無記名となっていますので、ご協力いただいた皆様にご迷惑をおかけすることはありません。率直なご意見をお聞かせくださるようお願い申し上げます。

平成15年6月

始良中央地区合併協議会  
会長 鶴丸 明人

### ○記入にあたって

お答えは設問ごとに該当する番号を○印で囲んでください。

- ① 「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲むとともに、( )の中に具体的にご記入ください。
- ② 問2から問5までの設問については3つまで○を付けてください。
- ③ 回収につきましては、地区の調査員が6月23日(月)～6月29日(日)の間に伺いますのでご記入いただいたアンケートは封筒に入れて提出してください。
- ④ このアンケートについてご不明な点やご質問がございましたら、下記のところへお問い合わせください。

—問い合わせ先—

始良中央地区合併協議会 計画班 (国分市役所7階)

電話 0995-45-5111 (内線:4055)

FAX 0995-64-0940

**問 1**

あなたご自身のことについておたずねします。各項目ごとに、該当する番号に○を付けて下さい。

1. あなたの年齢と性別および職業をお答えください。

【年 齢】 1. 20～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳 4. 50～59 歳  
5. 60～69 歳 6. 70 歳以上

【性 別】 1. 男性 2. 女性

【職 業】 1. 会社員・会社役員 2. 自営業（商業、工業、サービス業）  
3. 農業 4. 水産業 5. 林業 6. 公務員・団体職員  
7. 家事専業 8. 学生 9. パート、アルバイト  
10. 無職 11. その他（ ）

2. あなたの住所をお答えください。また、現在の住まいに居住している通算年数をお答えください。

【住 所】 1. 国分市 2. 溝辺町 3. 横川町 4. 牧園町  
5. 霧島町 6. 隼人町 7. 福山町

【居住年数】 1. 5 年未満 2. 5～9 年 3. 10～19 年  
4. 20～29 年 5. 30 年以上

**問 2**

1 市 6 町の合併において何を期待しますか。 **3 つまで** ○を付けてください。

1. 住民票の発行などの窓口サービスが多く場所で利用できる
2. 行財政の効率化により財政基盤が強化される
3. 職員数や議員数の削減など行政内部の効率化が図られる
4. 公共施設等が現在の市町の垣根を越えて利用できる
5. 専門職の配置による高度な行政サービスができる
6. 重点的な投資による、質の高い施設整備や大規模な事業の実施ができる
7. 交流人口の増加や若者の定着が図られる
8. 観光振興など広域的な視点にたったまちづくりができる
9. 自然、歴史、文化や農林水産資源を活かしたまちづくりができる
10. 都市と自然のバランスがとれたまちづくりができる
11. その他（具体的に記入して下さい： ）



**問 5**

新市に、特に重要な施策は何だと思えますか。A～Fの項目からそれぞれ3つまで○を付けてください。

**A. 社会基盤** ※この中から3つまでお選びください。

1. 高速道路や幹線道路の整備
2. 生活道路（集落道、市町道、農道、歩道）の整備
3. 公共交通機関の利便性の向上
4. 公営住宅、宅地の整備
5. 中心・周辺商店街（市街地）の整備
6. 空港等を活用した交流拠点づくり
7. 港湾・河川の整備
8. 情報・通信網の整備
9. 治水対策や土砂災害防止対策の推進

**B. 生活環境** ※この中から3つまでお選びください。

1. ごみの減量化、リサイクル運動の推進
2. 省資源、省エネルギー型生活様式の普及、啓発
3. 森林の維持と水資源の確保
4. 上下水道の整備、生活排水対策の推進
5. 公害防止等の環境保全対策の強化
6. 公園・緑地・水辺空間の整備
7. 自然環境の保全
8. 消防・防災・防犯体制、交通安全対策の強化
9. ごみ・し尿処理体制の整備

**C. 保健福祉** ※この中から3つまでお選びください。

1. 医療施設の整備、医療サービスの充実
2. 福祉施設の整備、福祉サービスの充実
3. 保健施設の整備、保健サービスの充実
4. 障害者福祉等の充実
5. 居宅高齢者福祉の充実
6. 保育、育児相談などの児童福祉の充実
7. 介護保険、自立支援、生きがい対策の充実
8. 医療・福祉・保健ネットワークの形成
9. 健康づくり、スポーツイベント等活動の促進

**D. 教育文化** ※この中から3つまでお選びください。

1. 総合教育・情報化教育の充実
2. 学校教育・社会教育施設（図書館・公民館等）の整備
3. スポーツ・レクリエーション施設（体育館・運動公園等）の整備
4. 文化施設（文化ホール・博物館等）の整備
5. 伝統文化の保存伝承・伝統文化の担い手の支援
6. 大学の誘致、その他の専門教育機関の充実
7. 総合的な生涯学習の支援体制の整備・充実
8. 芸術・文化・スポーツ活動の推進
9. 国際化への対応

**E. 産業経済** ※この中から3つまでお選びください。

1. 農林水産業の振興
2. 商工業の振興
3. 観光産業の振興
4. 後継者の確保、育成
5. 物産PR事業の実施、統一ブランドの確立
6. 広域観光ルートの整備、観光情報提供システムの確立
7. 起業家の育成、地元企業・育成異業種間交流支援
8. 企業誘致の推進、新産業の創出
9. 地元の農林水産資源を生かした加工業の振興

**F. 住民参画** ※この中から3つまでお選びください。

1. 住民参画によるまちづくりの推進
2. ボランティア活動、NPO（営利を目的としない公益的な民間の組織）の推進
3. 住民との対話の機会の確保
4. 人権尊重や男女共同参画社会づくり
5. 情報公開等、開かれた行政の推進
6. 地域自治組織（自治公民館等）の活動促進
7. 住民と行政の協働によるまちづくりの推進
8. 地域おこし・まちづくりグループの育成
9. 民間活力の活用

上記施策（A～F）以外に必要なと思う施策があれば、具体的にご記入下さい。

**問 6**

新市のまちづくりについてのご意見を自由に記入してください。

# アンケート配布回収フロー

アンケート対象者抽出・調査員配置・事前説明

← 各市町



首長調整会議・幹事会へアンケート内容確認

← 事務局 《6月5日》



各市町へアンケート用紙配布

← 事務局 《6月11日》



第2回協議会へ報告

← 事務局 《6月12日》



対象者へアンケート用紙の配布(1,000名)

※配布物【アンケート用紙・回答用紙・回答用紙用封筒】 ← 各地区調査員《6月13日～6月17日》



アンケート用紙の回収

※回収物【回答用紙用封筒(回答用紙同封)】 ← 各地区調査員《6月23日～6月29日》



アンケート用紙の取りまとめ

各市町 《6月30日》



事務局回収

《7月1日》



アンケート集計・納品

《7月14日》



アンケート結果の報告、公表

第5回幹事会、協議会  
《7月17日、7月24日》

※ アンケートの配布方法は各市町へ一任します。但し、回収方法は各市町統一とします。  
 ※ 各市町へのアンケート用紙の配布・回収は事務局職員がお伺いいたします。